2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301教室
担 当 教 員	村井　拓人	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

クラウドファンディングを通じて、プロダクトの考案・制作・宣伝の一連の事柄を経験することで、企業で要求される開発スキルやマネタイズについて知る。ファンディングに成功した場合は、量産といった高度なプロセスに挑戦することで自身の造詣の深化に繋げる。

《成績評価の方法と基準》

クラウドファンディング実施内容　70%
出席　20%
平常　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

(参考文献)MAKERS 21世紀の産業革命が始まる、メイカーとスタートアップのための量産入門

《授業外における学習方法》

バッカー(支援者)と直接のやり取りが重要なため、メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと

《履修に当たっての留意点》

対外的な作業が多いため、支援者や興味を持った方々に失礼やトラブルの無いよう、真摯に最後まで取り組むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングに出品するプロダクトを考案し、開発までのスケジュールを立てる	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト考案、スケジューリング①		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングに出品するプロダクトを考案し、開発までのスケジュールを立てる	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト考案、スケジューリング②		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングに出品するプロダクトを考案し、開発までのスケジュールを立てる	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト考案、スケジューリング③		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディングに出品するプロダクトを考案し、開発までのスケジュールを立てる	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト考案、スケジューリング④		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作②		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作③		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作④		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑤		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑥		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑦		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑧		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑨		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑩		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑪		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	301教室
担 当 教 員	村井 拓人	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

クラウドファンディングを通じて、プロダクトの考案・制作・宣伝の一連の事柄を経験することで、企業で要求される開発スキルやマネタイズについて知る。ファンディングに成功した場合は、量産といった高度なプロセスに挑戦することで自身の造詣の深化に繋げる。

《成績評価の方法と基準》

クラウドファンディング実施内容　70%
出席　20%
平常　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

(参考文献)MAKERS 21世紀の産業革命が始まる、メイカーとスタートアップのための量産入門

《授業外における学習方法》

バッカー(支援者)と直接のやり取りが重要なため、メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと

《履修に当たっての留意点》

対外的な作業が多いため、支援者や興味を持った方々に失礼やトラブルの無いよう、真摯に最後まで取り組むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑫		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑬		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑭		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑮		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	スケジュールに沿って、量産を見据えたプロダクトの試作を行う	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロダクト制作⑯		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロダクトをより魅力的に見せるプロジェクトページを作成する	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロジェクトページを作成①		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロダクトをより魅力的に見せるプロジェクトページを作成する	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロジェクトページを作成②		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロダクトをより魅力的に見せるプロジェクトページを作成する	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロジェクトページを作成③		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロダクトをより魅力的に見せるプロジェクトページを作成する	参考文献	実際のクラウドファンディングサイトを訪問し、どういったプロダクトが成功しているのか、製品調査やプロモーションテクニックを学ぶこと
		各コマにおける授業予定	プロジェクトページを作成④		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良①		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良②		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良③		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良④		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑤		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑥		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	村井　拓人	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

クラウドファンディングを通じて、プロダクトの考案・制作・宣伝の一連の事柄を経験することで、企業で要求される開発スキルやマネタイズについて知る。ファンディングに成功した場合は、量産といった高度なプロセスに挑戦することで自身の造詣の深化に繋げる。

《成績評価の方法と基準》

クラウドファンディング実施内容　70%
出席　20%
平常　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

(参考文献)MAKERS 21世紀の産業革命が始まる、メイカーとスタートアップのための量産入門

《授業外における学習方法》

バッカー(支援者)と直接のやり取りが重要なため、メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと

《履修に当たっての留意点》

対外的な作業が多いため、支援者や興味を持った方々に失礼やトラブルの無いよう、真摯に最後まで取り組むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑦		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑧		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑨		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑩		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	プロジェクトページをローンチし、実際に支援を募る 質問等には随時対応する	参考文献	メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング運営、プロダクト改良⑪		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施① (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展①		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施② (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展②		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施③ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展③		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施④ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展④		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑤ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑤		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑥ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑥		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑦ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑦		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑧ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑧		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑨ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑨		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	量産スケジュールに沿って、量産を実施する。支援金を活用し量産パートナーと量産を進める。	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)量産スケジュールに沿って量産実施⑩ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑩		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	クラウドファンディング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室
担 当 教 員	村井　拓人	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

クラウドファンディングを通じて、プロダクトの考案・制作・宣伝の一連の事柄を経験することで、企業で要求される開発スキルやマネタイズについて知る。ファンディングに成功した場合は、量産といった高度なプロセスに挑戦することで自身の造詣の深化に繋げる。

《成績評価の方法と基準》

クラウドファンディング実施内容　70%
出席　20%
平常　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

(参考文献)MAKERS 21世紀の産業革命が始まる、メイカーとスタートアップのための量産入門

《授業外における学習方法》

バッカー(支援者)と直接のやり取りが重要なため、メッセージの見逃し等ないように自身のプロジェクトについては常に注意を払うこと

《履修に当たっての留意点》

対外的な作業が多いため、支援者や興味を持った方々に失礼やトラブルの無いよう、真摯に最後まで取り組むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業① (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑪		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業② (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑫		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業③ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑬		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業④ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑭		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑤ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑮		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑥ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑯		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑦ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑰		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑧ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑱		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑨ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑲		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	梱包・発送作業を実施し、自身のプロダクトを世に送り出す	参考文献	量産したプロダクトの発送が完了するまで、頻繁にアップデートを投稿しバッカーの信頼を得ること
		各コマにおける授業予定	(クラウドファンディング成功)プロダクト発送作業⑩ (クラウドファンディング失敗)開発したプロダクトをコンテスト等に出展⑳		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング結果、クラウドファンディングを通じて学んだこと等をまとめて整理する	参考文献	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施報告会準備①		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング結果、クラウドファンディングを通じて学んだこと等をまとめて整理する	参考文献	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施報告会準備②		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング結果、クラウドファンディングを通じて学んだこと等をまとめて整理する	参考文献	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施報告会準備③		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング結果、クラウドファンディングを通じて学んだこと等をまとめて報告する	参考文献	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施報告会		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	クラウドファンディング結果、クラウドファンディングを通じて学んだこと等をまとめて報告する	参考文献	なし
		各コマにおける授業予定	クラウドファンディング実施報告会		